

2020

対象疾患	前立腺がん
使用する治験薬	ダロルタミド（抗アンドロゲン薬）〈経口薬〉
治験デザイン	<p>第Ⅲ相試験</p> <p>A 群：ダロルタミド + ADT(アンドロゲン遮断療法)を 24 カ月</p> <p>B 群：プラセボ + ADT(アンドロゲン遮断療法)を 24 カ月</p> <p>※ 医師や患者さんがどの群の治療を受けるかは選択できませんが、A 群、B 群のいずれかの治療を受けることになります。</p> <p>※ 「プラセボ」とは、治験薬と色や形が同じですが、有効成分は入っていません。プラセボと治験薬をそれぞれ使って、治験薬による効果と、プラセボを飲んだことによる心理的な効果を比べて、治験薬が本当に有効なものかを客観的に評価します。</p>
参加いただける患者さんの条件	<p>以下の条件を満たす方が対象となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 文書により同意できる 2) 18 歳以上である 3) 組織学的又は細胞学的に前立腺の腺がんと診断されている 4) 前立腺がんに対して根治的な治療を受けている 5) 前立腺がんの高リスクの生化学的再発がある 6) PSMA-PET/CT により陽性病変がみられる <p>※ 上記の条件は概要であり、これらに該当していても参加できないことがあります。</p>
治験責任医師	泉 浩二
治験依頼者	バイエル薬品株式会社
jRCT-No.	
備考(企業 HP 等)	